

(4 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

4 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と 都市基盤の整備など未来の京都への先行投資 14項目 679,700

<都市計画局>

①戦略的な都市機能の配置・誘導を目指した土地利用等の見直し 10,200

新たな「京都市都市計画マスタープラン」に示した将来像の実現に向け、用途地域等の地域地区の見直しを行う。

24年度は、地域地区を変更した場合の影響等、土地利用の実態調査や分析、見直しを行う際の考え方の検討等に併せて、ものづくり産業等を支援する都市計画制度について検討を行う。

なお、全市見直しとは別に、土地利用等の見直しが可能な地域については、速やかに対応していく。

[都市計画局 都市計画課 TEL 222-3505]

②「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進 181,100

22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略は、①既存の公共交通の利便性向上、②歩行者優先のまちづくり、③歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦）の3つを柱に、脱「クルマ中心」社会のモデル都市の形成を目指し、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現するための88の実施プロジェクトを掲げている。24年度は、以下の事業を実施する。

◆「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進 26,000

京都の魅力と活力が凝縮した歴史的都心地区（四条通、河原町通、御池通、烏丸通で囲まれた地区をいう。）を中心とした「まちなか」において、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向け、「歩いて楽しいまちなか戦略」を推進している。

24年度は、四条通の歩道拡幅と公共交通優先化に向けて詳細設計を実施する。

また、駐停車車両の整序化に向けたエリアマネジメント組織を設けるとともに、路上での荷捌き車両の削減を図るため、共同集配や路外荷捌き場の設置に向けた実証実験を実施する。

(23～24年度 詳細設計 28百万円)

(4 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

- ◆「歩いて楽しいまちなかゾーン（仮称）」の推進 10,000
歩道整備が困難な都心の細街路において、安全でゆとりのある歩行空間を確保するため、幹線道路に囲まれた地域を「歩いて楽しいまちなかゾーン（仮称）」と設定し、交通管理者等と連携して、ゾーン対策を実施する。
24年度は、歴史的都心地区（四条通、河原町通、御池通、烏丸通で囲まれた地区をいう。）を対象として、先導的に対策を実施する。
対策内容 ゾーンを明示する看板等の設置（都市計画局）
車線幅員の狭小化（路側帯の拡幅）、狭窄部の設置（建設局）
- ◆「歩くまち・京都」公共交通センター（仮称）の設置 2,000
市内を運行するすべての公共交通機関の情報を、利用者の目線で分かりやすく発信するための拠点として、交通事業者、学識経験者等との共汗の下、「歩くまち・京都」公共交通センター（仮称）を設置する。
「歩くまち・京都」公共交通センター（仮称）の業務内容
 - 市民や観光客からの公共交通の利用に関する問合せへの対応
 - インターネット上における公共交通の利用に関する情報発信
 - 市民や観光客に公共交通利用への転換を促す情報提供
 - レンタサイクルに関する情報発信 など
- ◆バス利用促進等総合対策の推進 6,300
バスの利便性の向上と公共交通ネットワークの充実を図るため、GPSを活用したバスロケーションシステムを導入するバス事業者に対して、国、京都府と協調して補助を行う。
- ◆「歩いて楽しい東大路」における歩行空間の創出 3,000
地域住民、道路管理者、交通事業者等の関係機関等で構成する「東大路歩行空間創出推進会議」において、通過交通や路上駐車・荷捌き車両対策など、道路空間の見直しに伴う課題解決に向けた協議、検討を行う。
- ◆駅等のバリアフリー化の推進 17,800
国のバリアフリー新法の基本方針改正を受け、23年度に策定する新「京都市交通バリアフリー全体構想」に掲げる重点整備地区（10地区・11旅客施設）のバリアフリー化を推進する。
24年度は、京都市交通バリアフリー推進会議（仮称）を設置するとともに、重点整備地区のうち2地区において「バリアフリー移動等円滑化基本構想」を策定する。

(4 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

◆京都駅南口駅前広場の整備 103,000

京都駅の南口駅前広場について、交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行者空間の創出等により、国際文化観光都市である「歩くまち・京都」の玄関口にふさわしい駅前広場に整備するため、24年度は、都市計画決定を経て詳細設計を実施するとともに、整備後の駅前広場の適正利用に向けたエリアマネジメント組織の構築を進める。

◆京都駅北口駅前広場の交通施設整備 13,000

京都駅北口駅前広場において、公共交通の乗継利便性の向上や安全で快適な歩行空間の充実を図るため、交通事業者が実施するタクシー乗降場付近の上屋設置及びバリアフリー化に対して補助を行う。

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

③リニア中央新幹線の誘致促進 1,000

リニア中央新幹線の「京都ルート」の実現に向け、「京都府中央リニアエクスプレス推進協議会」に分担金を支出し、国やJR東海に対する要望活動、市民の皆様への広報活動を行う。

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

④JR奈良線高速化・複線化第二期事業に係る共同調査 11,600

奈良線複線化の第二期事業を推進するため、JR西日本、京都府、沿線市町がそれぞれ3分の1ずつを負担して、共同調査を実施する。

共同調査概要

- 調査内容 鉄道施設等の測量、複線化等配線検討、駅改良計画策定、複線化等事業費及び事業効果の算定、踏切統廃合、立体交差化基本計画策定 など
- 事業費 概算90百万円
- 京都市負担 沿線市町負担分 30百万円のうち、38.46%

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

【局配分枠における主な新規・充実事業(都市計画局)】

[充実事業]

◇「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進

全体事業費 10,000 (うち充実分 4,200)

(4 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

◇「らくなん進都まちづくり推進プログラム」後期の取組方針検討

全体事業費 2,000 (うち充実分 2,000)

<建設局>

⑤自転車通行環境整備事業 47,000

自転車と歩行者，自動車が共存可能な道路環境の形成を目的として，平成22年度に実証実験を実施した御池通において，自転車通行環境の整備を行う。

(設計) 御池大橋～堀川通

(整備) 御池大橋～烏丸通 (北側)

[建設局 道路環境整備課 TEL 222-3570]

⑥石畳舗装維持補修 42,400

伝統的建造物群保存地区等においては，風情を感じさせる趣のある石畳舗装が施されているが，車両通行等の影響により損傷し，点在する補修跡が著しく景観を損ねている。このため，これを順次補修し，歩行者の通行の安全と，景観の保全を図る。

[建設局 調整管理課 TEL 222-3568]

⑦京都御苑周辺道路の歩行空間改善事業 12,000

今出川通及び烏丸通の京都御苑側の歩道については，歩道が狭く，側溝への転落の危険性が高いため，間伐材を活用した木製の転落防止柵及びデッキを設置する。

24年度は，烏丸通の横断歩道部 (3箇所) において整備を進める。

[建設局 調整管理課 TEL 222-3568]

⑧無電柱化事業 254,000

豊かな自然と優れた文化遺産，伝統的な町並みなどの歴史的風土を保全し，市街地景観の向上を図るため，無電柱化を実施する。

24年度は，渡月橋南詰，愛宕街道 (嵯峨烏居本伝統的建造物群保存地区) において，新たに工事に着手する。

全体事業費 523百万円 (うち政策的新規・充実事業予算枠 254百万円)

[建設局 道路環境整備課 TEL 222-3570]

(4 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

⑨京都高速道路3路線の抜本的見直し 15,000

京都高速道路の残り3路線(堀川線, 久世橋線, 西大路線)について, 交通状況調査などを行い, 存廃も含め, 抜本的な見直しを行う。

[建設局 建設企画課 TEL 222-3551]

<環境政策局>

⑩安心・安全なまちづくりに向けた環境施設再整備事業(府市協調) 31,400

府市協調の下, 安心・安全なまちづくりを推進するため, 京都府警南警察署の建替え用地として, 生活環境美化センターの敷地を現南警察署の敷地と交換することに伴い, 生活環境美化センターの機能を維持するための再整備を行う。

24年度は, 施設の基本計画・設計等を行う。

年次計画 24年度 基本計画・設計
25～26年度 整備

[環境政策局 環境総務課 TEL 222-3450]

[環境政策局 まち美化推進課 TEL 213-4960]

<行財政局>

⑪市庁舎整備基本構想(仮称)の策定 7,000

市庁舎整備基本計画の策定に向けて, 平成23年度に実施している本庁舎の保存・活用のための調査結果を踏まえ, 市庁舎全体の建物構成や規模, 必要な機能, 本庁舎の耐震補強の工法等の基本的な方向性を示した「市庁舎整備基本構想(仮称)」を策定する。

[行財政局 総務課 TEL 222-3045]

<総合企画局>

⑫民間のデータセンターの活用による情報セキュリティの向上 5,000

安全で安定的な情報システム環境を継続的に確保するため, 分散設置されているシステムをセキュリティ環境の整った民間のデータセンターへ順次集約し, 一元管理することで, 更なる情報セキュリティの向上と効率的なシステムの運用を図る。

全体事業費 13百万円(政策的新規・充実事業予算枠5百万円, 局配分枠8百万円)

[総合企画局 情報化推進室 TEL 222-3257]

(4 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

⑬大型汎用コンピュータのオープン化に向けた調査 **10,000**

基幹情報（住基，税，福祉等）の処理を行う大型汎用コンピュータについて，最新技術の導入とコスト削減，業務の効率化を図るため，オープンシステムへの刷新を図る。24年度は，新システムの開発手法等の詳細な調査を実施し，より低コストで効果的な手法の検討を行う。

[総合企画局 情報化推進室 TEL 222-3257]

⑭山間地域における携帯電話通話エリアの拡大 **52,000**

山間地域の一部の，携帯電話が利用できない地域において，携帯電話事業者の協力を得て，国の制度（移動通信用鉄塔施設整備事業）を活用し，携帯電話通話エリアの拡大に取り組む。

24年度実施地域 北区西賀茂氷室地域，左京区花脊大悲山地域

[総合企画局 情報化推進室 TEL 222-3255]